

平成13年度
(2001)
第41回大会

男子優勝 札幌藻岩 女子優勝 札幌清田

【 大会寸評 】

雨にたたられた大会であったが、当番校に支えられ、選手のはつらつとした素晴らしいプレーが随所で見られた。団体戦男子は、札幌藻岩の12年連続22回目、女子は札幌清田の5年連続17回目の優勝で終わったが、準優勝の男子札幌日大、女子札幌静修の健闘が目立った。尚、第3位の高校、札幌稲雲、北海、函館白百合、札幌開成は、後一步及ばなかった。どの試合も接戦で白熱したものだった。優勝した札幌藻岩、札幌清田の全国大会での活躍を期待したい。

個人戦シングルスでは、男子は藻岩の一角を崩し、優勝した原田（札幌日大）の迫力あふれるプレーがひとときわ光った。全国に出場する原田他、杉村拓三、千葉健二、岩野卓の4名は皆全国レベルの選手である。女子は松本有加（札幌清田）の強さが抜きんでていた。

個人戦ダブルスは、札幌日大勢が札幌藻岩の9年連続優勝を拒み、木村・佐藤組が優勝。原田・根本組が準優勝と活躍した。女子は札幌清田が5年連続制覇した。団体・個人戦シングルス・ダブルスの三冠に輝いた松本有加（札幌酒田）には敬意を表したい。

【 全国大会 】

北海道では経験できない暑さの中、選手はよく頑張っていたが、粘りに欠け、惜しいところで負けた試合も見受けられた。自信を持ち、普段の力を惜しみなく発揮して欲しい。今大会で目立ったのは、男子団体に札幌藻岩、女子団体に札幌清田が頑張り、それぞれ準優勝した藤沢翔陽、優勝した大阪四天王寺に破れたにせよ、北海道の代表としてベスト16に入ったことだ。力の限り、素晴らしい試合だった。暑い中、死力を尽くし、北海道の代表としてよく頑張ってくれた。残念ながら、個人戦では、シングルスで、男子が全員1回戦を突破して、2回戦まで進み、女子シングルスで松本有加が2回戦に進んだ他は、1回戦で破れた0強豪に当たったとはいえ、普段の力を出し切れなかったように思う。支部大会では考えられない平凡なミスをしたり、ゲームポイントの場面で粘り負けし、ゲームを逆に取られてしまう場面が多かった。暑さ対策を万全とし、元気あふれる粘り強いプレーを今後期待したい。体力と、厳しいトレーニングの上に成り立つ強執な精神力を培い、

全国大会で素晴らしい成績を修めることを願って寸評としたい。

優勝のよろこび

男子 札幌藻岩高等学校

インターハイで優勝出来た事は、高校時代の最高の喜びです。一緒ががんばってきた部員と先生方に感謝しています。

藻岩高校テニス部は優勝回数も多く、また昨年新人戦は準優勝だったため、今回の優勝は悲願であり、それだけ緊張も大きいものでした。レギュラーとして出場した仲間も同じ気持ちだったはず。出場しなかった部員達も真剣に応援してくれました。部員が団結する事は大きな力になると思います。彼達も次の機会には選手として出られるようがんばってほしいです。

夏には熊本で全国大会があります。今回の経験を生かして試合に臨めればと思っています。我々3年生はこれで最後となるので悔いののこらぬよう、1・2年生は今後の成長に結びつくような試合が出来ればと思います。

秋からは2年生中心の活動になりますが、力を合わせてがんばってほしいです。全道のテニス部と競い合い、一層強くなる事を目指せば、結果は付いて来ると思います。優勝する事は困難だし、それだけ強い喜びです。優勝校は連覇を、今回優勝を逃した学校は次回の優勝を目指してがんばって下さい。最後に、部長としての仕事を支えてくれた部員達に心から感謝をします。

(札幌藻岩高校 主将 岩野 卓)

優勝のよろこび

女子 札幌清田高等学校

札幌清田高校に入って自分のテニスの腕を上げる”と決めたときから、北海道の高校テニス界のトップに立つことは一つの目標でした。そして一度トップに立ってからは最後までトップを守りきると決め、そのために毎日より上を目指して取り組んでいました。

私にとって、優勝することは全国大会への通過点という意味でも非常に大事なものでした。もちろん、誰もが全道優勝を狙っていたわけですから、追われる立場として、何としても勝たなくてはならないというプレッシャーも少しはありました。でも勝つのが当たり前でしたし、何より私には、3年間清田高校でやってきたという自信がありました。だからこそ、勝ちたいとか自分にはできるという前向きな気持ちで取り組めば結果は必ずついてくると信じ、一試合ずつ確実に戦っていきました。優勝が決まった瞬間は喜びでいっぱいでした。勝ち続ける難しさを知っていたからこそ、一つの目標をしっかりとクリアできたことが本当に嬉しかったです。

3年間私を支えてくださった緒方先生や小松先生、訪問者の方々、他校の先生方、そしていつも周りで私をサポートしてくれてくれた仲間たちに、心から感謝しています。本当に

ありがとうございました。これからは、この素晴らしい環境の中で経験した多くのことを胸に、さらに全国レベルで活躍していけるように頑張っていきたいです。

(札幌清田高校 主将 松本 有加)

全国高校総体 (第91回全国高等学校庭球選手権大会) 熊本

8月1日～8日

パークドーム熊本

熊本県民総合運動公園 A テニスコート

八代市スポーツ・コミュニティ広場テニスコート

男子 個人戦シングルス 優勝 添田 豪 (藤沢翔陵)

女子 個人戦シングルス 優勝 川床 萌 (園田学園)